

Title	數學教育雜話 I .
Author(s)	糟谷, 正一
Citation	全国紙上数学談話会. 135 p.43-p.44
Issue Date	1937-07-20
oaire:version	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/74526">https://doi.org/10.18910/74526</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 601. 數學教育雜話 I.

糟 谷 正 一 (郡山中)

中學校ノ教員ニナツテ二年目、マダ數學教育ノ根本問題  
がハッキリ分ラナイ。ナサケナイ限りだ。

入學試験ニ數學がアルカラ、數學ノ教員が重宝ガラレル  
ノハ事實デアルが、ソレデハ何ダカ余ツタ様デ分ラナイ。數  
學 = *proper* ナ何カビアツテ、ソレガ人間ノ発達ニ是非共  
必要デアルカラ、コレマデ深山ノ生徒々先生が苦シンデ來タ  
ノデハナイカト云フ氣ガシテナラス。マダ自分ノ思ツヌヤウ  
ノ授業ガ一回モ出來ナイノハ要スルニ自分ノ研究ガ足りナイ  
カラダトハ思フケレド、一体ドウシタラヨイモノダラウ。  
マダ自分がドウシテモ教員デ一生終ラネバナラストイフ覺悟  
ガ出來テキナイセイカモ知レナイ。今更ナガラ學生時代ノ不  
勉強ガ悔ヒラレテナラス。

然シナガラ次ノヤウナ考ヘガ、カスカニ頭ニ浮ンデ來ル、  
ソレハ數學科教員ノ數學的教養ノ問題だ。色々ナ先生ノ授業  
ヲ見セテ貰ツタガ、ソノ授業ニハソノ先生ノ數學的教養ガニ  
ジミ出テキルヤウナ感ジガシテナラス。

昔カラ數學ヲ教ヘテ來タノハ數學トイフ文化材ヲ用ヒテ

テ アラケズリノ人間ヲ磨クノデハアルマイカ、テジ之レマ  
デハ教材が色々ナ人ヲ磨クノニ適シテキナカツタノデハアル  
マイカト反省シテ見ル。

今大阪市視學ヲシテキラル伊藤誠先生がマタ御影師範  
ニ居ラレタ頃ヨク教室へ遊びニ來ラレテ何時ダツタカ千疋屋  
デオ茶ノ御馳走ニナツタコトガアル。ソノトキ「氣分ヲ変ヘ  
ルタメニ出テ來ルノダ」ト話サレタノヲ覺エテキルが、數學  
教育ニ携ッテ見ルト、コノ先生ノ言葉ノ意味が少シ分ツタ様  
ナ氣ガスル、阪大ノ學生ハチマツカリシテキルト小倉先生ニ  
叱ラレテモ仕方がアルマイ。

コンナ方面ノ記事ハ「紙上」デハ許サレナイカモ知レナ  
イが何ダカ言ッテ見タクナツタ。

南雲先生ガコノ「紙上」ヲ一杯ノユーヒト比喩サレタコ  
トガアルが、ムツカシイ研究ニハサマレタ、コンナイタヅラ  
モ無駄デハナカラウト思フ。